



TOKYO UNIVERSITY OF SCIENCE

6-3-1 NIJUKU, KATSUSHIKA-KU, TOKYO 125-8585, JAPAN

Phone: +81-3-5876-1717

2015年7月

報道関係各位

国際シンポジウム開催のお知らせ

「International Symposium of the Center for Animal Disease Models (CADM) 2015」

主催：東京理科大学 生命医科学研究所 ヒト疾患モデル研究センター

共催：東京理科大学 研究戦略・産学連携センター

7月21日(火)、10:00～18:10、学士会館(東京都千代田区神田)にて、東京理科大学は「ヒト疾患モデルの最新の研究成果を発表する国際シンポジウム」を開催いたします。

多くの疾患はマウスにおける遺伝子改変によって再現可能です。これらの遺伝子操作マウスは、新薬開発のターゲット分子の同定に使用されています。

東京理科大学生命医科学研究所ヒト疾患モデル研究センターは、新しい技術を用いて新規の遺伝子操作マウス系統を活発に作出しており、既に150系統以上のヒト疾患関連の遺伝子操作マウスを保有しています。

本国際シンポジウムは、遺伝子操作マウスのヒト疾患研究への活用を更に強化し、臨床研究への応用を促進することを目的として開催するものです。

国内外の大学からの招待演者および当センターの研究者が、遺伝子操作マウスを用いての免疫および神経疾患領域における最新の研究成果を発表いたします。

当日は報道関係者の皆様のお席をご用意させていただきます。多忙中とは存じますが、主旨ご理解の上、ご出席・ご取材賜りますようお願い申し上げます。

なお、誠に勝手ながら会場の準備の都合上、7月17日(金)までに出席のご都合を、別紙の返信用FAXにてご連絡いただければ幸いです。別紙、申込用紙をファックスにてお送りいただければ幸いです。

東京理科大学 生命医科学研究所 ヒト疾患モデル研究センター
「International Symposium of the Center for Animal Disease Models (CADM) 2015」
実施概要

- 日 時：2015年7月21日(火) 10:00～18:10
- 会 場：学士会館（東京都千代田区神田錦町3-26 TEL：03-3292-5936）
アクセス：都営三田線・新宿線/東京メトロ半蔵門線 各「神保町駅」
東京メトロ東西線「竹橋駅」 下車1～5分
- 主 催：東京理科大学 生命医科学研究所 ヒト疾患モデル研究センター
- 共 催：東京理科大学 研究戦略・産学連携センター
- 登壇者／所属／講演タイトル

【免疫領域】

1. 10:10～11:10 Richard A.FLAVELL (Yale School of Medicine)
Keynote Lecture “Inflammasomes in Health, Dysbiosis and Disease.”
2. 11:10～11:40 清野 宏（東京大学医科学研究所）
“Innate Lymphoid Cells and Mast Cells for the Regulation of Symbiosis and Inflammation at the Surface Barrier System.”
3. 11:40～12:10 岩倉 洋一郎（東京理科大学生命医科学研究所）
“The Role of C-type Lectin Receptors in the Homeostasis of the Intestinal Immune System.”
4. 13:10～13:40 Glen N.BARBER(University of Miami)
“STING- Dependent Innate Immune Signaling and Role in Inflammatory Disease and Cancer.”
5. 13:40～14:10 山本 一彦（東京大学医学部）
“Regulatory T cells Controlling Antibody Production.”
6. 14:10～14:40 久保 允人（東京理科大学生命医科学研究所）
“Host Defense Mechanisms Against Influenza Virus Infection.”
7. 14:40～15:10 北村 大介（東京理科大学生命医科学研究所）
“BLNK-knockout Mice as a Model of Allergic Diseases.”

【神経領域】

8. 15:40～16:10 Oleg BUTOVSKY (Harvard Medical School)
“Identification of a Unique Molecular and Functional Microglia Signature in Health and Disease.”
9. 16:10～16:40 西道 隆臣（理化学研究所）
“Stop the Progression of Preclinical Alzheimer’s Disease.”
10. 16:40～17:10 Zhigang HE (Harvard Medical School)
“Axonal Damage and Regenerative Medicine: Intrinsic Control of Axon Regeneration.”
11. 17:10～17:40 岡野 栄之（慶應義塾大学医学部）
“Brain Science Using Transgenic Non-Human Primates.”
12. 17:40～18:10 古市 貞一（東京理科大学理工学部）
“Animal Models of Autism Spectrum Disorders: CAPS2 is Critical for Proper Brain Development and Social Behavior.”

～本件に関するお問い合わせ先～

東京理科大学 研究戦略・産学連携センター 担当：宮田/山内
TEL：03-5876-1530 FAX：03-5876-1676



東京理科大学 研究戦略・産学連携センター行

FAX 番号 0120-653-545 (フリーダイヤル)

もしくは 03-3571-5382

諸準備の都合上、お手数ではございますが、下記要項をご記入のうえ、2015年7月17日(金)までに FAX にてご返信くださいますようお願いいたします。

東京理科大学 生命医科学研究所 ヒト疾患モデル研究センター主催
国際シンポジウム

「International Symposium of the Center for Animal Disease Models (CADM) 2015」

【日時】2015年7月21日(火) 10:00~18:10

ご出席 ご欠席

(にチェックをお願いいたします)

貴社名/貴紙・誌名		
ご部署名		
ご出席者名	(計 _____名様)	
ご連絡先	TEL.	Mail
通信欄	ご質問・ご要望がございましたらご記入下さい	